

氏名	吉 本 静 雄
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1532 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和59年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	ヒトリンパ球の細胞表面抗原に関する研究 第1編：T細胞型急性リンパ性白血病由来の細胞株と成人T細胞白血病由来の細胞株に対する異種抗血清の作製とその性状 第2編：B細胞型急性リンパ性白血病由来の細胞株に対する異種抗血清の作製とその性状
論 文 審 査 委 員	教授 長島秀夫 教授 太田善介 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

ヒトT細胞とB細胞に由来する異なった3種類の白血病細胞株に対する異種抗血清を作製し、各種血液腫瘍細胞を中心にその反応性を検討した。

第1編：T細胞型 ALL 細胞株 TALL-1 と成人T細胞白血病（ATL）細胞株 MT-1 を用いて家兎抗血清を作成した。その結果、1)両抗血清は赤血球他で吸収する事によりT細胞特異的となった。2)両抗血清とも正常T細胞とは高率に反応したが、腫瘍細胞に対する反応性は異なり、抗 TALL-1 血清は T-ALL 細胞とは高率に反応したが、ATL 細胞とはほとんど反応せず、抗 MT-1 血清は ATL 細胞と高率に反応したが、T-ALL 細胞との反応性は一定しなかった。以上よりT細胞には少なくとも2つの異なった分化抗原が存在することが示唆された。さらに ATL 細胞は両抗血清との反応性が個々の症例で一定であったのに対し、T-ALL 細胞の両抗血清に対する反応性は個々の症例で異なっており、T-ALL はその抗原性より、heterogeneous であることが推測された。

第2編：B細胞型 ALL 細胞株 BALL-1 に対する家兎抗血清を作成した。赤血球とT細胞株で吸収した抗 BIa 血清はT細胞株と胸腺細胞とは反応せず、non-T,non-B-ALL,AML,AMMoL,急性転化 CML,Burkitt リンパ腫および検索したすべての non-T 細胞株と反応し、Ia 様抗原を認識すると考えられた。抗 BIa 血清をさらに Ia 様抗原陽性の non-T,non-B-ALL 細胞株 NALL-1 にて吸収した抗 Bs 血清は検索した2

種類の pre-B 細胞株中の 1 系と SIg 陽性 B 細胞とのみ反応し、正常人末梢血リンパ球との反応性は、ほぼ SIg 陽性率に相当した。この事より抗 Bs 血清は B 細胞の分化に応じて表現されると推測される B 細胞分化抗原の中の 1 つを認識すると考えられた。。

論文審査の結果の要旨

本研究はヒト T 細胞に由来する異なった 3 種類の白血病細胞株に対する異種抗血清を作製し、各種血液腫瘍細胞を中心にその反応性を検討したもので、ヒトリンパ球の細胞表面抗原に関する研究として新しい知見を加えたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。